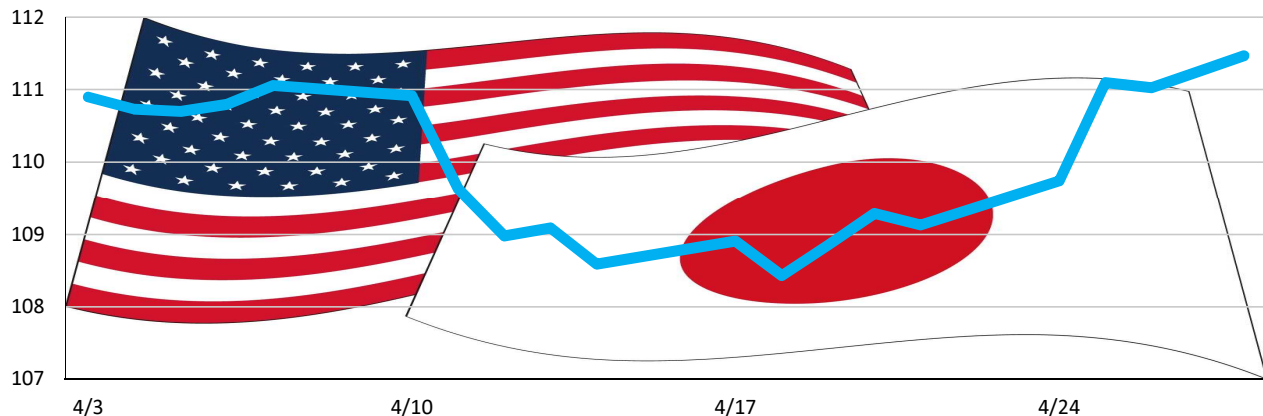


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 4月のドル円相場は、111円後半～108円前半で推移。3月までの荒い動きが落ち着きつつあったが、米中首脳会談の最中に、シリアを空爆したとの報道から一気にリスクオフの円買いが進んだ。さらにトランプ大統領は米軍空母を朝鮮半島に向けて北上させるなど、一気に有事リスクが拡大してきたことも円高進行に拍車をかけていた。また、英国のメイ首相が総選挙を行うとの発言からポンドやユーロを中心に大幅な動きとなったり、フランス次期大統領選挙に際してリスクオフムードで迎えた投票日だったが、結果的に極右のルペン氏と中道のマクロン氏の決選投票となり、決選投票ではマクロン氏が勝利するだろうと最悪のシナリオを回避したとの見方からユーロ買戻しの動きとなるなど、荒れた月となった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: FRBとトランプ大統領に左右されていた感がある米ドルだが、徐々にこの材料のインパクト度合いが不足してきたとも言え、狭いレンジ相場となっているが、ここにきて有事という言葉に左右されることも多くなってきた。対シリアへの空爆は可能性という点では予見されていたところもあるが、米中首脳会談のタイミングというのは少々以外であった。そのため市場もリスク回避の動きとなったが、今度は北朝鮮に対する圧力も高まってきており、不確定要素のリスク要因として頭に入れておきたい。また執筆時点では投票が行われていないが、フランス大統領選挙の決選投票の行方もしっかりと見極めたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

| 日付 | 時間 | 国 | 指標名 | 重要度 |
|------------|---------|----|-------------------|-------|
| 5 / 26 (金) | 21 : 30 | US | 米GDP改定値 | ☆☆☆☆ |
| 6 / 1 (木) | 21 : 15 | US | ADP雇用統計 | ☆☆☆☆ |
| 6 / 2 (金) | 21 : 30 | US | 米雇用統計 | ☆☆☆☆☆ |
| 6 / 8 (木) | 8 : 50 | JP | 日GDP確報値 | ☆☆☆☆ |
| 6 / 8 (木) | 20 : 45 | EU | 欧州中央銀行 (ECB) 政策金利 | ☆☆☆☆ |
| 6 / 15 (木) | 3 : 00 | US | 米連邦公開市場委員会 (FOMC) | ☆☆☆☆☆ |
| 6 / 16 (金) | ** : ** | JP | 日銀金融政策決定会合 | ☆☆☆☆ |